

まんのう町教育委員会だより

爽風

そうふう

子どもの健やかな成長を願って

平成30年【2018】

10月1日発行

Vol.9
Contents

- P.2-5 特集 進む「教育の情報化」
- P.6 シリーズ 家庭教育を考える
- P.7 シリーズ 読書のすゝめ
- P.8-9 園・学校ウォッチング 満濃中学校・満濃南こども園
- P.10 ホットニュース
- P.11 関係機関から



どんどん形が変わっていくよ

～シャボン玉遊びに夢中のふたり～

満濃南こども園にて(9ページに関連記事)



社会におけるICTの発達

平成元年 世界に先駆けてブック型(後のノート型)パソコンが商品化される
 3年 小型携帯電話「ムーバ」が発売される
 7年 PHS(簡易型携帯電話)サービスが開始される
 日本でマイクロソフト社の「ウィンドウズ95」が発売される
 8年 日本初の商用検索サイト「ヤフー!・ジャパン」が開設される
 9年 インターネット上のショッピングモール「楽天市場」がサービスを開始する

インターネットが一般に広く普及し、PCが家庭で使われるようになる

平成10年 検索エンジンサービス「グーグル」が開設される
 11年 「iモード」が開始される
 ネット上の巨大掲示板「2ちゃんねる」が登場する
 12年 「アマゾン・ジャパン」が日本で事業を開始する
 13年 小型デジタルオーディオプレーヤー「アイポッド」が発売される
 16年 米国で「フェイスブック」が設立される
 国産SNS「mixi」「グリー」がサービスを開始する
 17年 米国で動画サイト「ユーチューブ」がサービスを開始する
 18年 米国で「ツイッター」がサービスを開始する

インターネット上の誹謗中傷やいじめ、個人情報の流出やプライバシーの侵害、有害情報、ウィルス被害など、多くのトラブルが発生

平成20年 日本で初代の「アイフォン」が発売される
 23年 「ライン」がサービスを開始する
 全国地上波のデジタル化が完了する(岩手・宮城・福島を除く)
 25年 フリマアプリ「メルカリ」がサービスを開始する

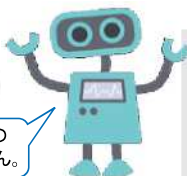
平成29年 人工知能(AI※4)技術を生かして開発した囲碁プログラムが、中国の柯潔(か・けつ)九段に3戦全勝する
 将棋の電王戦で、ソフトウェアが佐藤天彦名人に2戦全勝する
 アマゾン、グーグル、ラインが、スマートスピーカー※5を国内で一斉に発売する

※4 artificial intelligence の略

※5 声での操作により音楽を再生したり情報を検索したり連携家電を操作したりするワイヤレススピーカーのこと

なぜ、小学校でプログラミング教育が始まるの?

プログラミング言語を覚えたりプログラミングの技能を身につけたりすることが目的ではありません。



コンピュータは人間が命令(プログラム)を与えること(=プログラミング)によって動作します。子どもたちはプログラミングを体験しながら、コンピュータに自分の意図した処理を行わせるために必要な手順を論理的に考えていく力(=「プログラミング的思考」)を身につけていきます。

有識者会議※2における「議論のとりまとめ※3」によると、情報技術を効果的に活用しながら、論理的・創造的に思考し課題を発見・解決していくために「プログラミング的思考」が必要であり、そうした「プログラミング的思考」は、将来どのような進路を選択しどのような職業に就くとしても普遍的に求められる力であるとしています。

※2「小学校段階における論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成とプログラミング教育に関する有識者会議」の略:文部科学省が設置

※3「小学校段階におけるプログラミング学習の在り方について(議論のとりまとめ)」の略

進む「教育の情報化」

— ICTの活用で進化する学校 —

「ICT」とは「Information and Communication Technology」を略したもので、「情報通信技術」と訳されます。情報化社会となった今、教育の現場にも ICT が取り入れられ、教育の情報化が進んでいます。

学習指導要領改訂とともに進む教育の情報化

平成元年
 日本の小・中学校教育における情報教育が始まる

小学校…コンピュータ等に慣れ親しませること

中学校…技術・家庭科で、選択領域として「情報基礎」を新設

平成10年
 情報教育の目標が定められる「総合的な学習の時間」に、パーソナル コンピュータ(PC)での調べ学習がさかんになる

小学校…各教科や「総合的な学習の時間」等で情報機器を積極的に活用すること

中学校…技術・家庭科の「情報とコンピュータ」で、内容6項目(①情報手段の役割 ②コンピュータの基本的な構成と機能及び操作 ③コンピュータの利用 ④情報通信ネットワーク ⑤コンピュータを利用したマルチメディアの活用 ⑥プログラムと計測・制御)のうち、①～④を必修化
 各教科や「総合的な学習の時間」等で情報機器を積極的に活用すること

平成20年
 情報モラルを身につけることの重要性が強く打ち出される

小学校…文字入力等の基本操作や情報モラルを身につけ適切に活用できるようにすること

中学校…技術・家庭科で、これまで選択の内容だった「プログラムによる計測・制御※1」を必修化
 ※1 コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知り、簡単なプログラムを作成する学習

平成29年(今回の改訂)
 情報を効果的に活用して、情報社会に主体的に参画し創造していくという態度を育てようとしている

小学校…プログラミングの体験的な学習を必修化

中学校…技術・家庭科のプログラミングや情報セキュリティの学習を充実させる
 「総合的な学習の時間」にプログラミングを体験しながら論理的思考力を身につけさせる
 (小学校は平成32年度、中学校は平成33年度から全面实施)



現在、満濃中学校で使われている技術科の教科書より



書画カメラ・プロジェクタ
絵やノート、タブレットPCの画面を大きく映し出す



タブレットPC
動きをみるために撮影する



電子黒板
動画や写真、資料、教科書のページを大きく映し出す



① 授業をより 分かりやすくする

ICTの活用 教育における3つの役割

② 機器や情報の 正しい活用能力を育てる

③ 教員の仕事を 効率化する



保護者や地域などへの
分かりやすい説明

先生方も、ICT活用技術の向上に努めています。
町では、先生方や子どもたちのICT技術の向上を支援する「ICTサポーター」を、各小・中学校に派遣しています。

◆効率化のための使われ方

- テストの点数等をPCに入力して管理し、学期末の成績処理を能率アップ
- 職員会議等の資料をPCの画面でファイルとして見られるようにし、紙の印刷物を削減
- 印刷物による学校だよりに加えて、ホームページでも広く情報を発信
- 手書きで作成していた「学びのたより」をPCで作成

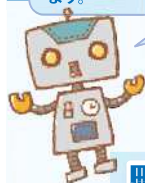


パーソナル コンピュータ (PC)
PCで調べる

基本的な操作を身につける



情報モラルについて考える
掲示で理解を助ける



町内で使用している
主な情報機器

書画カメラ
資料など主に平面の被写体をカメラで撮影する装置



プロジェクタ
画像を拡大してスクリーンに映し出すことのできる装置



パーソナル コンピュータ (PC)
私たちは「パソコン」と呼びますが、これは、日本独自の呼び方です



電子黒板
PCに取り込んだ資料や教材を表示できる大型装置
画面に直接タッチして書き込みや操作が可能



タブレットPC
タッチ画面式の携帯型PCのこと

家庭教育を考える②

心のこもった美しさ「こども」がこどもの感性を育てる

母親も教師も「こども」がある

早くしなさい
きちんしなさい
何度言ったらするの
テレビばかり見てないで、
勉強しなさい
がんばらないとあなたが困るのよ
口だけじゃないの、達者にやっ
てあなたは本当にダメな子ね……

と、言いつつ「こども」を

思うようにやってほしいと
時間をかけていいのだと
伸び伸びと描いているね
よく聞いていたから正確にできたね
まあよりんとかよくあったね
そこまで自分で考えているのだ
すごいね……

この二つのこどもは群衆の決定的な違い
は何だろうか。

大人である母親や教師の思いや考
えを中心に考えるが、「こども」の立場
や気持ちを中心に考えるの違ひで
ある。この「こども」のこどもを
の底から思いつく「こども」が自分
で育つていくことを信じて見守ってや
るのの違ひである。

象頭山に沈む大きな真つ赤な太陽
を親子で手をうたいてながめながら、
「真つ赤でいいだね。」
と真つ赤から出た感動のこどもは、
その情景と一緒に、こどもの心のな
かへ沈殿して行く。そして、美しい
感性となつて、こどもの心の写真
フォルムのネガに焼きこめるのである。
抱きしめた子うさぎも、
「かわいいね。」
とこのこどもと感動がいい、咲き
誇る草花を眺めて、
「美しい色合いだね。」
とこのこどもから感動のこどもは、
その感性を豊かにするのである。こども
と美しい現実が結びついた時に、こ
どもの感性や情操は豊かになる。

自立心をつけてやりたい

これもあれも大事である。だから
頭のなかに入れて憶えておきましょ
う、という発想は大人が考えるもの
である。大人の考えをこどもに強制
していることになる。それよりも
何が大切か、自分にとって何を求め
たいのか、自分自身で追求したり、
考えたりする力をつけておきたいも
のである。

困難に遭遇しても、未知の世界に
放り出されても、それを乗り越えて
いくバイタリティーが備わっておれ
ば、これほど力強いものはない。た
くさんの知識やノウハウを押しつけ
ても、これからの世の中、役に立つ
ものはそれほど多くはないのでは
ないか。こどもに本物の自立心をつ
けてやりたいものである。

(教育長 三原一夫)

読書のすすめ④

本のある環境

子どもの頃、毎月届けられる本がありまし
た。小学館の「少年少女世界の名作文学」と
いう本です。分厚くて重く、幼い私には持ち
運びがたいへんでしたが、毎月届くのが楽し
みで、さまざまな本のお話を夢中になつて読
んだように思います。

お話と同じくらい楽しんでいたのは、その
表紙が毎月違った名画で飾られていたこと
です。なかでも一番に残っているのは、「小公子」
や「小公子」が収められていた巻の表紙で
かわいらしい女の子の絵でした。



飽かずに眺めていた表紙の絵

ずっとこのように調へてみると、それはスベ
インの画家ティエリ・ペラスケスが描いた「ラ
ス・メーナス（女官たち）」という作品で、その
周りにいる女の子はマルグリータ王女、その周
りにいる王女に仕える女官をはいめ、
人物が描か
れていてこ
とが分かり
ました。

表紙に掲載されていたのは、その絵から切
り取られた王女の上半身の部分だったのです。
じつとこちらを見つめる澄んだまなざしと、
愛らしく高貴なたたずまいに、幼い私は、何
か憧れのふよふよなものを抱いたのだと思いま
す。その表紙をいつまでも飽かずに眺めていたこ
とを覚えています。

このように、子どもの周囲につくられる「も
のの環境」は、知らず知らずのうちに子どもを
そのものに近づけるきっかけとなるものです。
日本を代表するアーティストとして活躍した

中村紘子さんは、無類の大好きで知られて
います。子どもの頃「ハノン」指の練習曲」
は機械的な練習曲だから、譜面台に乗
譜の両方を置き、本を読みながらピアノの
練習をしていたというエピソードもありま
す。その中村紘子さんが、自分の大好きに
ついて次のように語っています。

「情操教育」というのは、教育して行つ
ものが肝心ではなく、家庭が情操的であるとい
うこと、私にとっては、
「私の小さいときを振り返ってみると、た
とえば、本好きだったから自分の周囲が
皆、本好きだったからだと思います。で
すから、本が家の中心に溢溢して、みな
がいはば面白いくつて顔して、本を読
んでいた……。読まなきゃ教養がつかない
か」といふことがよくあります。」
(「リスト中村紘子の記憶」高坂はる香著、集英社)

さて、「読み聞かせ」の大切さについては
前号にも書きましたが、家庭での読書の間
には、自分の子どもを理解する手だてとし
ても有効なものである。

たとえば、同じ本を読んでも、兄
弟で反応がちがう、そのことがそれぞれの
子どもをより深く知るきっかけになる、と
か、ふたふたやなわが子の好きな本や
場面を知って、この子は意外と繊細なこ
ろがあるんだということが分かった、とい
うようにです。それは親にとって、なんと
楽しい発見でしょう。

(教育指導室 高丸美子)



小・中学校の先生が こども園で一日保育体験



一人一人の発達や性格に合わせて声かけをしたり支援したりすることの
重要性を理解することができました。保育者が一人一人の子どもをしっかり
見て、気づいたことがあれば声に出して職員同士で情報を共有していた
のが印象的でした。

自立できる子どもを育てるために大切なのは教師の多くの指示ではな
く、子どもの思いを受け止めた声かけや見守りであることを改めて学びま
した。この体験を生かし、子どもとのかかわりを深め、子ども理解に努
めていきたいです。

琴南小学校 岡田 麻友子先生

満濃中2年生 シンガポールへの旅

8/23(木)
~27(月)



毎年、町教育委員会が行っているこの
行事に、今年も20名の中学2年生が参加し
ました。

シンガポールでは、現地の学校と交流会
を行ったほか、それぞれのホームステイ先
で研修や観光などをして過ごし、国際理
解を深めたいへん貴重な5日間となりました。



園・学校 ウォッチング

満濃中学校では、自己肯定感^{※1}や自己有用感^{※2}を持ち、自分やまわりの人たちを大切にしながら、目標を持って力強く生き抜いていける生徒の育成をめざしています。

しかしながら、6月に2年生を対象に行ったアンケートによると、「自分にはよいところがあると思うか」「自分のことが好きか」という質問に対して肯定的に回答した生徒の割合は、左表の通り、まだまだ高いとは言えません。生徒の自己肯定感や自己有用感を高める取り組みを工夫していくことが、本校の課題の一つであると言えます。

※1 自己肯定感：自分の存在や価値を肯定する感覚。「自尊感情」とほぼ同じ意味で用いられる。
 ※2 自己有用感：他人の役に立った、他人に喜んでもらえたなど、他者との関係の中で自分の存在を価値あるものと受け止められる感覚。

地域で育つ満中生 ～ ボランティア活動を通して 地域とつながる～ 満濃中学校

**小学生を見守る
交通立哨ボランティア**

7年目を迎え、本校のボランティア活動の一つとして定着しています。今年度も既に150名を超える生徒が参加しています。

小学生的な安全な登校を中学生が見守りながら、その登校風景から自分自身の交通ルールやマナーを見つめさせることをねらいとしています。このような交通立哨ボランティアは、全国的にも希少であり、本校の特色の一つです。



小学生の登校を見守る

様々な体験を通して

6月には町立図書館の「図書館まつり」で工作会の手伝い、7月には国営讃岐まんのう公園で「きこり探検隊」としてノキの間伐やシタタケのほた木の管理などの体験、また、地域の病院での看護体験など、生徒たちは地域の方々に見守っていただきながら、熱心に活動しています。

(単位：%)

質問	はい	どちらかと言えばはい	どちらかと言えばいいえ	いいえ	肯定率
私にはよいところがあると思う	41.4	37.2	14.3	7.1	78.6
私は、自分のことが好きだ	25.7	31.5	21.4	21.4	57.2

(6月：満濃中学校2年生に実施)

家庭や地域と協力して

自己肯定感や自己有用感を高める取り組みの一つとして、生徒が地域の中で活躍する場を積極的に設けるようにしています。

地域の中に入り地域の方々や触れ合うなかで、生徒は地域の方々から直接、称賛や励ましの言葉をいただくことができま

す。また、地域の方々から学校に寄せられる生徒のさまざまな情報により、先生方も生徒を称賛したり、認め励ましたりする機会が増えました。

このようにして、家庭や地域と協力しながら、たくさん目の目で生徒たちを見守り、「一人のよさを見つけ、それを認め伸ばしていく」ことが、生徒たちの自己肯定感や自己有用感を高めていくと考えています。



通学合宿の補助スタッフとして



図書館まつりで絵本づくりの手伝い

前述のアンケートでは、「まわりの人の役に立ちたいか」という質問に対し、100%に近い生徒が肯定的な回答をしていますが、日常の様子を見ていても、困っている人がいたらさげなく手助けする光景がよく見られるなど、満中生のボランティア精神は確実に定着してきていると感じています。

今後は、地域ボランティアへの参加をより活性化することにも、地域とのパイプがより一層太くなっていくよう、努力していきたいと考えています。

心弾む・夏

今年も、子どもたちが大好きな夏の到来です。満濃南こども園では、プールや園庭で水や土に触れ、元気いっぱい遊びを楽しんでいる子どもたちの姿があります。

0～2歳児が生活する「にこにこ棟」では、子どもたちが雨あがりの水たまりや砂場で、泥や砂の感触を楽しむ泥んこ遊びや、テニスでの洗濯ごっこ、シャボン玉遊びなど、夏ならではの遊びを楽しんでいます。

3～5歳児が生活する「わくわく棟」でも、水や土に触れる遊びが盛ん。自分の目標をもちながら、生き物の飼育や「輪車乗り」、泥団子作りなどに夢中です。様々な友だちから刺激を受けることで新しいことに挑戦する意欲が芽生え、それが子どもたちの生き生きとした活動を生み出しています。

園では、子どもたちが興味をもってやりたいことを見つめたり、わくわくしながら思いを巡らせたりして、主体的に遊びや活動に取り組めるように、子どもたちの触れ合いを大切にしたい保育環境づくりに努めています。



洗濯板で遊ぶ

泥んこ遊び、だいすき



ザリガニの好物は何だろう？

楽しさを共有

「にこにこ棟」の園庭は、雨あがりに魅力的な場所に変身します。

水たまりを発見した子どもたち。そとと指先を入れて泥水の感触を確かめ、その感触にちよびり驚いた様子。けれど、慣れくると一気にバシャーンと手を入れた足踏みをしたりして泥水が飛びはねるのを喜ぶようになり

ます。両足に力を入れてバシャバシャすると手と顔が泥だらけになり、顔を見合せて大笑い。

五感を働かせて自然の恵みを全身で感じ、自分なりの表現を楽しむ遊びに大歓声。みんなの感動の輪が広がった素敵なひとときとなりました。

「わくわく棟」のある日の朝。

4歳児が持ってきた大きなザリガニの登壇に興味津々。「ザリガニさんって、かくれんぼが好きなんやって」と声をかけながら、木陰で植木鉢や石を入れて家作りをしたり、好きな食べ物を図鑑で調べたりしてザリガニに思いを寄せている姿に、子どもたちの心の成長を感じます。

土のねばり具合が最適な場所を見つけ、園庭では泥団子づくりが大盛況。

3歳児はたくさんお皿にのせて大満足ですが、5歳児は違います。乾いたさらさらの砂を何度もかき混ぜてつ

るつるになることを発見し、ぞいぞいと

手つなぎにチャレンジ!



お姉さん、すて〜い

自分も友だちも生き生きと遊びに没頭できる関係性、協同性を獲得していくことは、小学校以降の学習の基盤となります。子どもたちが、友だちと一緒に感動体験を積み重ねていけるように、これからも一人一人の育ちを支えていきます。

※次号は、「スクールソーシャルワーカーの目」です。お楽しみに！

特別じゃない「特別支援教育」②

「発達障害」という言葉は、以前から医療機関ではよく取り上げられていたが、教育現場で特に注目されるようになってきたのは、文部科学省による平成14年の全国調査がきっかけとなりました。

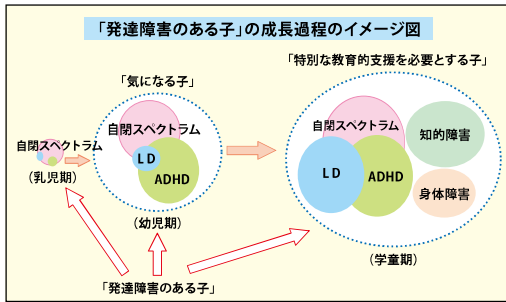
しかし、その具体的な状態については、担任はもちろん保護者の方々まで知られることは少なく、「落ち着かない子」「わがままな子」「字を書くのが苦手な子」などと思われ「落ち着かない」と「相手の気持ちを考えない」となど注意されたり、「もつと頭」に書きなさい」と言われて繰り返し書く練習をさせられたりしてきました。

そのような先生や保護者の注意や叱責により、子どもが努力することで改善していくこともありますが、改善できない子どもの中に、発達障害のある子どもが最近、見つけられるようになってきました。

ところで、「障害」とはこのような状態を表した言葉でしかなく、「障害」とは、本人の努力不足や保護者の育て方、先生の教え方が悪くなるものではなく、一般的な対応では改善しにくい、日常生活を送る上で大きな困難をかかえている状態をさします。

そのなかで、視覚障害のある方は、困難の状態が周りの人に理解されやすく対応しやすいので、手を差し伸べてあげれば信号機のない横断歩道も渡れることができるなど、生活に支障が出るのが軽減されます。

これに対して発達障害は、その困難の様子が分かっていないため対応しにくくなり、つい今までの対応（叱咤激励）をしてしまい、かえってその子の困難を増やし、生活に支障が出てしまう場合が多くなります。



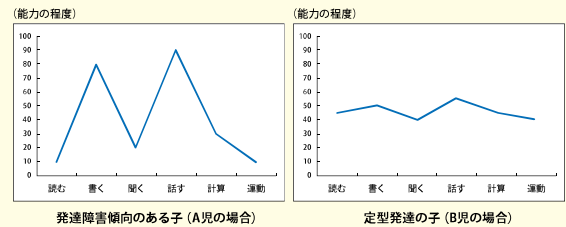
詳しく見ると左図のように、発達障害の中には、自閉スペクトラム、ADHD、LDなどの障害が含まれます。

自閉スペクトラムは、対人関係での困難や特別なこだわりを持つという状態であり、ADHDは多動・衝動性や不注意が目立ち、LDは読み・書き・計算の困難が大きい状態をさします。

成長発達に沿ってみれば、乳児期には「視線が合わない」「指さしをしない」などの自閉スペクトラム傾向が、幼児期には「遊びが次々変わる」「なぐし物が多い」などのADHD傾向が、学童期には「字の形が歪む」「計算ができない」などのLD傾向に気づかれることが多くなります。

このような困難は、どの子にもあるものですが、発達障害傾向の子は、下図の

一人一人の子どもの能力の様子



大阪市立大空小学校 元校長

木村 泰子先生の講演会を開催

8.29 (満濃中学校ランチルームにて)



木村泰子先生は、2006年4月、大空小学校に初代校長として着任してから2015年3月に退職するまでの9年間、「みんながつくる みんなの学校」を合言葉に、すべての子どもの学習権を保障する学校づくりに情熱を注がれました。そして、教職員や子どもたちとともに、また、地域の人々の協力も得ながら、特別な支援を必要とする子どもたちも同じ教室でともに学び育ちあう「不登校ゼロ」の学校を実現されたのです。

2学期の開始を目前に控えたこの日、町内こども園、小・中学校の先生方約100名が参加し、木村先生のお話に熱心に耳を傾けました。

満濃中学校 全国大会で初優勝

郡市総体 (団体の優勝・準優勝のみ)

部活名	結果
剣道	男子 優勝 女子 優勝
軟式野球	優勝
ソフトボール	準優勝
バレーボール	男子 優勝 女子 優勝
卓球	女子 優勝
ソフトテニス	女子 優勝
水泳	男子 準優勝 女子 準優勝

県総体 (団体の優勝・準優勝のみ)

部活名	結果
軟式野球	準優勝
剣道	男子 優勝
ソフトテニス	女子 準優勝

四国総体

部活名	結果
軟式野球	3位
剣道	男子 3位 女子 1位
ソフトテニス	女子 3位 男子 1位

全国大会出場者

種目	出場者
ソフトテニス	増田 菜々 高橋ひかる
剣道	男子団体 富永 涼介 3位
なぎなた	長井 咲樹 山下 玲奈 1位

※ 紙面の都合で、郡市・県総体は団体の優勝・準優勝のみを掲載させていただきました。なお、剣道の全国大会出場は、四国総体の結果にかかわらず、県総体の結果で決まります。



第7回 さかいで・なかたど・あやうた 算数・数学オリンピック 8.4 (坂出中学校にて)

【入賞者】

銀賞・エレガント賞 金森隆太郎 (四条小 6年)

優秀賞 山内 榎也 (仲南小 5年)

優秀賞 金森 光咲 (満濃中 3年)

アイデア賞 真鍋奈々美 (満濃南小 6年)

アイデア賞 伊丹 隆斗 (長炭小 6年)

※ 坂出・仲多度・綾歌から243名の小・中学生が難関に挑戦しました。まんのう町からは、小学生16名、中学生5名が参加しました。

全国優勝



全国3位



(左から長井・山下)



地域の中で輝く

国営讃岐まんのう公園で活動する満中生
(8ページに関連記事)

編集後記

「大さじ4杯は何カップ？」
「キッチンペーパー、注文して。」
「ライトを消して。」
「ハッピーバースデー、歌って。」
人間からの呼びかけに次々と応えるスマートスピーカーのコミニカルを、テレビで見かけます。まるで、人間の言っていることを理解して反応しているかのようですが、今話題の本『AI VS.教科書が読めない子どもたち』の中で、著者である新井紀子さんは、次のことを強調しています。

AIは意味を理解しているわけではありません。AIは入力に応じて「計算」し、答えを出力しているにすぎません。AIの目覚ましい発達に目が眩んで忘れていた方も多いと思います。が、コンピュータは計算機なのです。

これからの情報化社会を、子どもたちはAIに主導権を握られることなく、うまく共存して生きていかなければなりません。その術として、「AIが代わることでできない力」と「AIを使いこなす力」を身につけていくことが必要です。

前者については、AIが意味を理解できない計算機であることから「意味を理解する力」(新井紀子さんによると「読解力や常識、柔軟性や発想力」)を育て伸ばしていくことが重要であると言われています。

一方、後者のためには「コンピュータをよく理解し主体的に活用する」力をつける必要があります。今回の学習指導要領改訂でクロスアップされている「プログラミング教育」も、そのための取り組みであると言えるでしょう。

特集

次号12月1日発行予告

災害から命を守る

※災害時に自ら安全な行動がとれる子どもを育てるために、今こども園、小・中学校で取り組んでいることは？

園・学校ウォッチング

- ・満濃南小学校
- ・四条こども園

シリーズ

家庭教育を考える③
読書のすすめ⑤



【お詫言】

爽風第8号(8月1日発行)の特集記事「新しい教科『外国語』の中でcherry(ちゅりん)の複数形を「cherries」と表記していましたが、正しくは「Cherries」です。お詫言申し上げます。

平成30年【2018】10月1日発行

Vol.9

まんのう町教育委員会より

爽風

発行責任者：まんのう町教育委員会

〒766-8503 香川県仲多度郡まんのう町吉野下430番地

TEL (0877) 73-0108 FAX (0877) 73-0113